

第1回課題調査部会（11月6日）

目標の設定

わかりやすさとインパクト
多様な区民が取り組める目標

メッセージの発信と
仕組み・取組の継続

活動の上での共通の目標

ターゲット

地域の不動産やコンビニ、企業

子ども（親もともに参加）

町内会から子ども会や老人会、
学校やPTAなどへ浸透

地域・イベントへの非参加者
特に単身の若い世代など。

集積所のルールを守らない方

課題

学校の環境教育と地域の連携。
地域と共有・実践（参観日等狙う）

意識改革
（地域課題に自ら取り組む意識）

集積所のマナーや環境改善
分別排出しやすいしくみづくり

まちをきれいにするためにできる
ことをやる（ごみ問題に限らない）

ごみ出し・分別が難しい、理解で
きない人の支援（高齢者・障がい
者・外国籍市民等）

既存の市民活動の知名度向上・PR

再資源化の仕組みや効果、分別法
の広報強化

発展・強化したい既存の取組や新たな取組

廃棄物減量指導員による分別指導

フロンターレ選手、後援会ネットワークを活用した広報

町会によるフリーマーケット

「フロンターレで毎日元気いっぱい!! 推進事業」
「正しい生活リズム」人形劇

「CG等々力 エコ暮らしこフェア」試合会場周辺エコ体験

3R 推進キャンペーン 川崎純情小町☆の活用

転入者に向けた広報強化 Web 情報等の充実

集積所再配置による環境改善

不動産と連携した情報発信

活動情報の冊子化、合同勉強会や団体のネットワーク化

アンケート調査で現場の工夫や課題を調査

第2回運営部会（1月9日）

基本的な確認事項

「地域コミュニティ、
みんなでまちをきれいに」
を幅広く捉える

- ・ごみ問題以外の視点を幅広く検討
- ・既存の活動を拡充し、参加しやすい形などを検討
- ・区の花・木などの活用
- ・落書き消しの活動
- ・心の交流（挨拶、声掛け運動）
- ・保育園、学校等への働きかけ
- ・緑化活動 など

取組の実施は、第5期の期間内

その他の意見等

ごみ問題に集中的に取り組む

取り組みやすい、成果がわかりや
すい、みんながきれいと言われる区
に

他の活動との連携

子育てふれあいカフェ等との連携

アンケート調査

→まずやってみる

既存の活動団体の工夫や課題等の
実態把握

まちのきれいな場所・箇所を表彰

コンクール、アワード、
コンテスト、作品展 など

取組提案検討の方向性(案)

① 啓発・ルールづくり、意識改革の取組 ② 学校と地域、環境教育の取組 ③ イベント・キャンペーン・周知の取組

第2回課題調査部会（12月8日）

提案検討のポイント(ここをねらおう！)

子どもを通じた働きかけをしよう！
親も参加。みんな笑顔。未来へ。

啓発はわかりやすさ・実行しやすさ重視！
制度・仕組みがわかりにくく、取組宣伝も下手。
習慣付けや、活動の継続化を目指す。

地域一体で取り組もう！
企業や商店、学校、町会…多様な主体と連携

達成目標を設定しよう！
資源化率や動員数などの数値で具体的に。

中原区の地域資源を活かそう！
川崎フロンターレ、人形劇団ひとみ座、グラン
ツリーなどは区だけの財産＝「中原区らしさ」

取組のアイデア

モデル集積所

分別を見て・触って学べる
場で啓発。集積所のお手本

人形劇での啓発事業

生活習慣啓発事業をごみ分
別バージョンで実施

集積所の絵や分別標語コン

テスト 関心喚起や美化効
果をねらう

啓発映像の作成・活用

映像等。インパクト、わか
りやすさ重視

楽しみながら学習&実践

スポーツ GOMI 拾い、分別ク
イズ・ゲーム等、親子で

認定・検定 分別名人の育成

分別や再資源化に関して
地域での普及者を育てる

既存活動の拡大・連携

（キャンペーン・イベント）
既存の活動の拡大、体験等一
緒に行うイベント

ごみ以外のエコ・きれいなま
ちづくり活動